医療用ガラス容器製造

高品質の医療用ガラス容器で薬を届け、人々の健康と命を支える

もっと、くわしくみてみよう!

日本硝子産業株式会社 静岡工場

所在地／焼津市五ヶ堀之内1530　TEL.054-629-2141　https://www.jgi-jp.com
工場操業開始／1976（昭和51）年1月　従業員数／86名（2026年11月現在）

私たちの仕事

私たちがつくっているのは、病院やクリニックで使われる注射の薬を入れるガラス容器です。薬は注射をして体の中に入るので、ガラス容器は決められた大きさと形、また、キレイでなければなりません。だからこそ長い間、積み上げてきた加工技術と検査力を生かして、薬の品質を守り安全に届けるために、高品質のガラス容器をつくっています。医療用ガラス容器をつくる仕事で、みなさんの毎日の健康と安心な暮らしに貢献しています。


▲外観

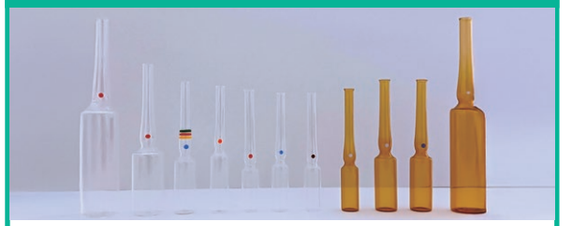
？どんな仕事をしているの?

注射の薬を入れるガラス容器の製造

機械と火を使って、ガラスを細く伸ばしたり、金型という道具で決められた大きさや形に加工し、医療用のガラス容器をつくります。ガラスには透明ガラスと茶色ガラスがあります。



アンプル



アンプルは注射用の薬を入れる細長い容器です。入れる薬の量に合わせた製品が約20種類あり、1日にできる本数は約3万～5万本です。いろいろな大きさや形（規格）に合わせて加工します。

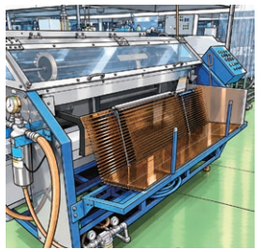
バイアル



バイアルはワクチンなどの薬を入れる割れにくい丈夫なガラス容器です。薬の量に合わせた製品が約25種類あり、キャップ用のネジの形にも加工が可能で、1日に約1万～2万本つくっています。

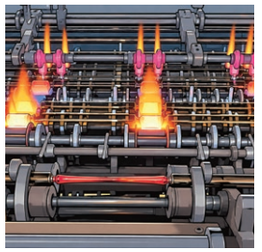
？製品はどのようにつくられるの?

品質を守るために決められたルールでつくります。



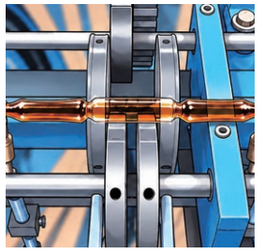
1 材料の洗浄

洗浄機でガラス容器となる材料を、純水という不純物を取り除いた水で洗浄します。



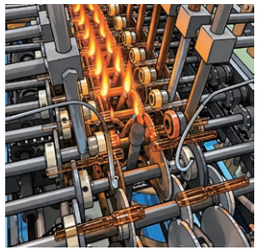
2 アンプル成型工程1

材料をアンプルの細長い形やくびれのある形に火で加工します。



3 アンプル成型工程2

アンプルの形ができあがりますが、底はまだできていません。



4 底つくり工程

火で少しずつ底となるところを平らになるように加工をして、底ができあがります。



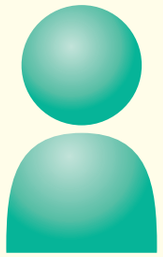
5 目視検査

製品に小さなキズや汚れがないか全て検査します。



働く人の声

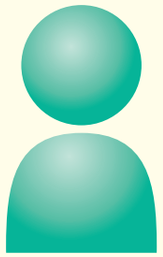
仕事のやりがいを聞いてみました。



容器製造グループ
Kさん

機械と火を使ってガラスを加工

不良を出さずに図面通りのガラス容器ができたときにやりがいを感じます。また、ガラス容器により薬が安全に保存されて、患者さまに届いて治療する、とても責任のある仕事です。



受託グループ
Sさん

患者さまの安心と人々の健康を支える

品質を第一に決められた手順で検査しています。女性が活躍する職場でチーム一丸となり、1本1本チェックした安全なアンプルとバイアルが、医療現場を支えていることに大きなやりがいを感じます。